

公表	事業所における自己評価総括表（児童発達支援）
----	------------------------

○事業所名	運動学習特化型 児童発達支援・放課後デイサービス アルペン清和 大元上町教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 21	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内の広さが十分であること。	動線ですべて動けるように物を配置している。 (構造化できている。)	床の整備を検討している。
2	支援に関する研修が多くあり、職員が一定の水準で支援を行うことができること。	研修を積極的に受講している。	研修で得た知識や取り組みを実践で生かせるように取り組む。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	いろんな職種の方が集まっているので、支援の内容に対してもともと知っている内容とこれから勉強していかなければならない内容について、それぞれ差がある。	事業所内での研修を検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識とお伝えすることのほかに、日々の支援のほかに細かな支援内容を具体的に伝えていくこと。 ・まだ観たいところを本人から発信していけるような、事業所にしていく。 ・そのほか外部研修も必要に応じて参加していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 運動学習特化型 児童発達支援・放課後デイサービス アルペン清和 大元上司教室

公表日 2026年3月13日

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		毎日の職員配置数は平均5名以上の配置を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2				・毎日利用者さんが帰った後、清掃を行っています。 ・感染症対策の換気や消毒なども行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11			1		毎日子供が帰った後に掃除を実施しています。また、送迎車の清掃も各州で行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		・ガイドラインに沿って制作しております。 ・本人移行、家庭支援、関係施設などの項目に沿って制作しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1		2		療育時間はプログラムに沿って行い、製作や余暇時間など活動内容を工夫しています。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	2	3		保育所等訪問での連携や、関係機関先と連絡帳を使ったやり取り等を必要に応じて行っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11			1		面談、モニタリングの際に計画の説明を行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2		4		保護者さんが参加できる会の検討をしています。 今後とも専門的な研修会も考えています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	2		1		連絡アプリなどを使って療育の様子や保護者様からの移行や園や学校の様子を共有させていただいています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2	1	1		6か月ごとにモニタリングを行って、計画の説明などを行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7		1	4		今年度は保護者会を2回開催しました。 不定期で行っているため、ぜひご参加ください。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				1	事業所としてはいつでも対応できるよう電話や対面での対応などその時に応じて対応できる方法で行っています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11		1			<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ツール等にその日の様子を細かく記載していくように努めます。 ・面談の場を設けて、より密な情報共有を行っていきます。 ・連絡帳の公開は、確認作業等ございますので次の営業日の公開となりますが、送迎時にもその日の様子等を詳しく伝えるようにこれからも努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			1		HP、SNS、アプリを活用して、今後も毎日の活動や教室の取り組みを積極的に発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1				鍵の付いたキャビネットに入れ保管、管理しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			1		<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは常に教室内に開示しておりいつでも閲覧が可能です。今後はアプリ上においても閲覧可能にします。 ・各マニュアルにおける訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7		1	4		月に一度、地震、火災、洪水、送迎時を想定した避難訓練を行い送迎時や連絡帳にて情報を共有しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		1		事故やケガ等が発生した場合には、応急処置を行い、即時にご家族に連絡させていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1				「社会性とコミュニケーション能力を養い、将来の自立に向けた支援をする」アルベン清和の理念に則り、療育の強化、活動の充実を図り、日々お子様を楽しみながら学べる環境を整えるための努力をしております。より子ども達の力になれるよう職員一同支援に努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動学習特化型 児童発達支援・放課後デイサービス アルペン清和 大元上町教室				公表日	2026年3月13日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		パーテーションを活用しているが、静かにできる環境ではないため、工夫が必要。	面談や個別の評価、SSTで使える半個室も必要です。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		職員の休みがあった場合には、他事業所とも協力しながら、行っています。	もう1人いた方が余裕ができるなと思う日がたまにある。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・階段は転倒しなように、滑り止めを貼っています。 ・階段に人動センサーのライトをつけています。 ・寒暖には、サーキュレーターを使用して空気を回しています。 ・来年度は、クーラーを増やすことも検討しています。	雨で階段が濡れて滑ると転倒リスクが高まるので専用のシートや足元の照明が必要です。また、夏の冬の寒暖の差が大きい時は職員のスペースと児童が使用するスペースの温度差が出ないようエアコンの位置の適正化をお願いしたいです。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		防火素材の物を検討しています。	床の緩衝が火災点検の際に指摘を受けているので、注意対象とならない素材をお願いしたいです。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	パーテーションを活用している。	上記で述べましたが、個別の対応、評価、リハ対応、面談が必要と思われます。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		日々の業務の中で改善できるところは、その都度改善してはいるが、開所したばかりなので、継続していきます。	しかし部分的な職員になってしまっているのではないかと思います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		職員全員が理解して支援に関われるように今後も継続していく。	職員全員の共有は不十分なので、ノートでの伝達を試みています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員全員が理解して支援に関われるように今後も継続していく。	職員全員の共有は不十分なので、ノートでの伝達を試みています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員全員が理解して支援に関われるように今後も継続していく。	職員全員の共有は不十分なので、ノートでの伝達を試みています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		セラピストとしては簡便な評価ツール、KABC IIのような検査の使用の有無を検討していただきたいです。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			保育所等訪問支援や支援会議のような相談支援員や他施設の協力ができないものも積極的に図っていく必要があると思います。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		引き続き行っています。 質の向上に努めていきます。	カンファレンスまではいかないまでも、運動のみならず学習についても療育会議や朝礼・終礼で検討していけたらと思います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		引き続き行っています。 質の向上に努めていきます。	まだ不十分だと思います。職員間の理解度の差がある為共有に努めたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		打ち合わせは行っているが、イレギュラーが起こった際に、伝達ミスがあるため、変更した際の伝達について考えていきたい。	その後の変更の共有が不十分なので検討したいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	記録は全てHUGシステムに残っています。 加算関係の記録もHUGシステムに残っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		園さんとの共有はまだ少ないため、支援会議などを設けて共有していきたい。	相互理解は、不十分な時もあるので理解が得られるよう継続して努力が必要だと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	していませんが、検討中です。夏祭りなども地域の人と行うことも検討しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	保護者会などを開催しています。 今後研修会なども検討しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			